



篠原西小学校 武者隊

○ 私は、この小机城址まつりの武者行列に参加して思ったことは、昔の人たちは皆、暑くてもあの防具を着て、寒くてもぞうりで歩いたりしてすごいと思いました。

最初は、思ったよりも軽そうに思えましたが、着ると暑苦しく重くて大変でした。

でも、本番では、慣れてきて山道は大変でしたが、最後まで登るとゴール！という感じで楽しかったです。また、最後にお弁当でシューマイ弁当のいろいろなおかずが入ったのを友達と山で食べました。とても、たまごがおいしかったのと、屋台で買ったやきとりがおいしかったです。とくに、皮のたれがおいしかったです。また大人になったら出てみたいです。

○ 私は、小机城址まつりに参加して、最初に思ったことは、衣装が桃太郎みたいだということでした。着てみて思ったことは、重い、動きにくいということでした。

当日歩いてみて、たびの中のダンボールが歩きにくく、取ろうとしたけどわらじをはいたあとで取れず、さらにそのわらじも足に当たって痛かったです。でも、前のほうに歩いていた『姫』の役の女の人がきれいで、やってよかったと思いました。

小机城址まつりに参加して、あの衣装を着て武者行列に参加して良い思い出になりました。

○ 私は、今年小机城址まつりの武者行列に参加しました。今年は、小学校生活最後なので、多くのことに参加して思い出をたくさんつくろうと思ったからです。

そこで、思ったことが二つあります。

一つ目は、『お客さんが私たちに元気をくれた。』ことです。よろい等の衣装が重くて時には、「やらなきゃよかった。」と思いました。

でも、本番。多くのお客さん方に『かわいい』『かっこいい。』などの言葉をもらって、「やらなきゃよかった。」が、「やってよかった。」に変わりました。

二つ目は、『貴重な経験が出来た。』ことです。よろいを着るなんてなかなか出来ないことです。私は、着ることができ貴重な経験ができたと思います。一生忘れることのできない私の大切な宝物です。

- 僕は、小机城址まつりに出てよかったと思いました。理由は、昔の人の甲冑(かっちゅう)を着たり、いろいろな人と触れ合うことができたからです。甲冑をきるのは、とても大変でした。実際に着てみると動きにくく苦しかったです。わらぐつもはいたけど、きつく足をなわでしめるので痛かったのです。

でも、刀を差して歩くと、自分が本当の少年武者みたいで楽しかったです。また、ずっと友だちだったマー君にも会えたのですごくうれしかったです。一番驚いたことは、鉄砲隊の銃の音です。大きくてびっくりしました。小机城址まつりが終わり、甲冑を脱いたら、体の開放感がたまらなかったです。貴重な体験ができて良かったと思います。

- 私は、武者行列という名前を聞いて、かっこよさそうだったので参加してみました。初めて練習したとき、着付けをするのに結構時間がかかって、本番、ちゃんと着られるのかな。と思いました。それに、二回あった練習日が、強風のため一回となり次の日が本番だったのもっと心配になりました。

本番。何人も人が来て、私たち篠原西小学校は少年少女武者隊の最初に歩いていたので、すごく緊張しました。途中で、わらじで歩いていたので足が痛くなりました。

とても良い服が着られて良かったと思います。最後に、昔の人は、戦いにいくのに、こんなにも重い服を着ていたのを考えると、すごいことだなと思いました。

- 僕は、小机城址まつりの少年少女武者行列に参加しました。僕がこのまつりに参加した理由は、僕がスポーツチャンバラをしていて、昔の刀や侍に興味があるからです。まつり当日、僕は少年少女武者行列の先頭に立って、三メートルぐらいある旗を持って歩くことになりました。ぼくは、他の武者行列の人たちと一緒に外で並んで待っていました。しばらくすると、大人の武者行列が動き始めました。すると、突然パーンという大きな音が鳴り響き、びっくりしました。音の鳴った方向を見てみると大人の持っていた火縄銃からけむりがでていました。

少年少女武者隊の行列も動き出しました。30分かけて山の上に着きました。戦場へいく儀式と帰ってきた儀式が行われました。

昔の武士は、どんな儀式をし、どんなかっこうをしていたのかがわかりました。

これからも今回の体験をきっかけに、知識を深めていきたいです。